

-----2月23日-----

今週のアウトlook (2/23 ~ 2/27)

先週は見事に予想を外してしまい、円安となってしまいました。
特にドル円では少しずつレジスタンスを切り崩して、今年の最高値ぎりぎりのところまで来ています。

ファンダメンタルズに逆行するドル高の流れは、米国金融機関や大手企業のリパトリという見方が優勢です。この流れは今週も続きそうです。

ただ、日本の大手企業などでもそろそろリパトリの動きが本格的になるので、今週は日米のリパトリ合戦となってしまうかもしれません。

ドル円はリパトリ、日本売りの影響で、95円から97円あたりを試す動きになるのではないかと予想が多いです。

ただ、シティバンク、バンカメなどの国有化問題にはかなり敏感なようです。この情報を確信させる情報が流れればNYダウばかりではなく、ドルも売られる展開になってしまかもしれません。

私としては93円台から94円台でもみ合いの末、週末にはドル安方向へ傾いてしまうのではないかと考えています。

ユーロ円はファンダメンタルズ的には軟調な展開だと思います。

テクニカル的に売られ過ぎということや、3月の利下げはなしという要人発言が錯綜して、先週末には再び120円近くまで上昇しています。

東欧諸国の状況や経済指標の悪化を考えると、このままの勢いを維持できるような状況にはまだないと思います。

117円あたりを中心とした、レンジ相場を考えています。

ポンド円は悪い情報が流れると一気に売られてしまうのですが、その後少しずつ切り返すような状況が続いています。今週も同じような状況になるのではないかと考えています。130円から135円あたりのレンジ相場でしょうか。

ただ、金融関係の状況は決して楽観視できるようなものではありません。再び大手金融機関の国有化等の情報が出されれば一気に下降トレンドに向かうことも考えておいた方がよさそうです。

システムトレード的アドバイス

「規制強化の与える影響」

早ければ4月からFX関係の規制が強化されるという情報が現実味を帯びてきました。

- 1) 極端に高いレバレッジは規制され、50倍程度までに抑えるようにする
- 2) 0に近いようなスプレッドは規制される
- 3) 証拠金保全分割の徹底化

というようなことのようにですが、詳細まではまだわかりません。

FXトレーダーの保護という名目のようですが、1)2)は特にFXトレーダーにとって、かなりマイナスになりそうな感じです。

ハイレバレッジスキャルパーと呼ばれる、最近急速に利益を伸ばしているトレーダーにとっては大きな打撃です。

また10万円の元手で1億円になどということも、今までは不可能なことでもなかったのですが、これからはかなり難しくなりそうです。

システムトレーダーにとってもスプレッドの問題は大きくかわりそうです。スキャルピング型でスプレッドが小さいが為に可能だったモデルも、これからは機能しなくなってしまうと思います。

全体としては改善ということなのかもしれませんが、トレーダーにとっては改悪の春となってしまういそうですね。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。